

いろいろなものにふれて、^{りよく}そうぞう力をふくらませよう！



ふ たい はい ゆう ころ し
～舞台俳優・ダンス講師～

おお むら な お
大村 奈央さん

人と話すときには、相手の目をよく見て、ひょうじょうを感じながら話すことが大事です。そして、相手がどういうはんのうをしているかをよくとらえる力もひつようです。

劇団四季に入ったとき、「口の形を大事にする」ことと、「母音をしっかり発音すること（母音＝あいうえお）」に気をつけると、言葉が相手につたわるということを教わりました。

わたしは、子どもたちにえんぎのしどうをすることがあるのですが、そのときには、「かんじょうを入れて、言葉をつたえて」と教えています。かんじょうを入れるためには、そうぞう力がひつようです。えんぎをする人が、かんじょうを入れて、その気分になれば、それはすぐにひょうじょうや声色に表れてきます。

そうぞう力を高めるためには、いろいろなものにふれていくことが、大切だと思えます。そしてそのけいけんが、ひょうげんする力をさらにみがいてくれるとおもっています。

